

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点⑤〉

三郷学の実践

26. 広報とメディア・ミックス

市では、広報「みさと」で市政情報やイベント情報に加え、地域のフォトニュースや市民が登場する記事を連載するなど、親しみのもてる広報づくりを進めています。また、三郷市公式サイト(市ホームページ)、公式ツイッターやフェイスブックにより、季節感のある写真、最近増えてきたテレビ番組等のロケ支援の様子や三郷生まれのお菓子やお酒(におどり)についても紹介してきました。

広報の役割としては「知らせる」「理解させる」「動かせる」の3セルが重要とされており、市から発信した情報を受け取

ったかたが、いかに行動に結び付けていただけるかを考えていく必要があります(広報みさと平成26年9月号に掲載の〈三郷学の視点⑤〉もご覧ください)。

市からの情報発信では、子どもから高齢者、お住まいの地域、世帯の構成など、読者の多様性を考えることが求められます。情報を受け取った読者が行動しやすいよう、行動に移すまでの流れを整理し、読者のサポートを行うメディア・ミックス(※)による広報戦略を心がけています。広報紙をはじめ市の公式サイト、ツイッター、フェイスブックはヒトとヒト、人とまちをつなぐ大切なまちづくり資源です。

※メディア・ミックスは、複数のメディア(広報紙、ホームページ、ツイッター、フェイスブックなど)を組み合わせることにより、それぞれのメディアの弱点を補い、相乗効果を期待することができます。



色々な取材をしています